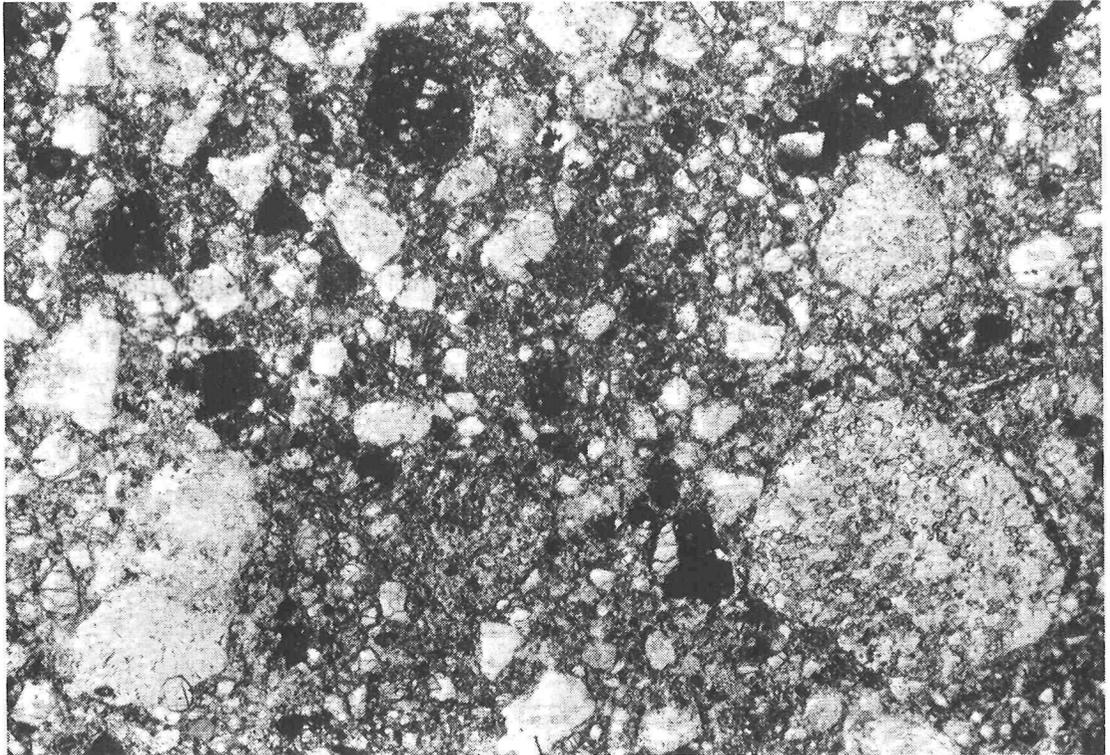


東京大学理学部

廣報



目次

表紙の説明	1
企画委員長の独りごと	藤田 宏 2
学際理学講座について	有馬 朗人 4
理学部LANシステムについて	国井 利泰 6
筑波の銀杏並木	野津 憲治 8
消防訓練	9
超高圧電子顕微鏡室の技術講習会に 参加してみませんか	立川 統 10
〈学部消息〉	10

表紙の説明

月 隕 石

月隕石は、月面への隕石の衝突によって月から掘り出され地球に落下したもので、南極大陸で発見されている。写真は、1982年日本南極観測隊によって、やまと山脈付近の裸氷上で発見回収された月隕石の岩石薄片の岩石顕微鏡写真である。写真の横巾は、3.3 mm。月高地の種々の岩石や鉱物、ガラス破片よりなる表土が熔結した角レキ岩である。岩石・鉱物学的特徴、MnとFeの量比、また酸素の同位体比等のアポロ計画で回収された月試料との類似性より、月高地に由来するもので、月高地、それも雨の海より遠く離れ、縁か裏側から隕石の衝突によって月の引力をふり切って飛び出し南極に落下したものである。現在までに、数十グラムのもものが5個、また1986年には数百グラムのもものが1個回収されている。

武 田 弘 (鉱物学教室)